

2025 年 楽しい草木染め(玉ねぎの皮) 報告

1. 開催日時：2025 年 8 月 17 日（日） 9:30~11:30
2. 場所：枚岡公園事務所うら 森の工作室
3. 参加者：12 人（大人 6 人、子ども 6 人）
4. スタッフ：5 人（イッシー、モッチャン、しばちゃん、ミキリン、もぐりん）

【準備】8 月 15 日（金）、本番に先立って森の工作室でスタッフ 4 名（イッシー、しばちゃん、モッチャン、もぐりん）でタマネギの染め液や媒染液を作り、実際にさらし布を染めてみました。タマネギ皮はイッシーさんが自宅で 2120g を用意した内の 710g を使用しました。

タマネギの染め液も媒染液もしっかり染まり、本番でも出来そうだと感じました。森の工作室で本番の準備をしました。

【本番】8 月 17 日（日）森の工作室でまずスタッフの打ち合わせをしました。

程なく参加者のみなさんが集まり、自己紹介から始まりました。



集まる参加者



挨拶・自己紹介



工程の説明



柄付けを行う参加者

スタッフ（もぐりん）から染めと媒染について、染めの工程、柄付けについて説明しました。準備日に染めたスタッフの作品やスタッフの過去の作品などを参考に展示して説明しました。あらかじめ水で洗い軽くしぼったさらし布にビー玉や割り箸や洗濯バサミなどを輪ゴムでくくりつけ染め液が入らないところが白く抜けて模様になるようにします。

染色の工程は 一回目の染色→水洗い→媒染（ミョウバン）→水洗い→二回目の染色→水洗い→媒染（ミョウバンか鉄媒染か）→水洗い→出来上がり となります。

ビー玉や割り箸をくくりつけたさらし布を染め液にひたします。液が布の隅々まで行き渡るように注意深く空気の泡を追い出します。

15 分ひたした後軽く水洗いをして、ミョウバンの媒染液に浸します。（10 分）水洗いをする则ち染め液が少し抜けて色が薄くなりますが、媒染液に漬けるとサツと色が鮮やかな黄色になります。

洗って 2 回目の染色に入ります。1 回目同様、染め液に 15 分浸して水洗いしたのち、今度は媒染液をミョウバン液か鉄媒染液のどちらかを選んで漬けてもらいます。

すでに黄色に染まっている布の一部を鉄焙煎液に漬けることもできます。

鉄媒染すると布がそこだけ黒っぽく染まります。短時間だと薄い黒に染まったり、媒染液が布に染みると思いがけない模様になったりします。



1 回目の染色



水洗い



ミョウバン媒染



鉄媒染

輪ゴムをはずしビー玉や割り箸をとって、布を広げます。
一番ワクワクする瞬間。
模様がくっきりできて、みなさん一様に喜んでおられるようでした。



輪ゴムを外して…広げてみると！



最後に、草木染めの布の洗濯や扱いの注意を聞いていただき、「楽しい草木染め」を終わりました。

【参加者の感想】

- 楽しかったです。
- ビー玉の模様完成したらいい感じでよかったです。
- (草木染め)少しやったことがある。ネコの肉球の柄途中でゴムで締めてなんとか出てよかったです。
- 楽しかったです。
- (孫が)ゴムで巻くのを全部自分でやりました。雪だるまがこんな模様になるのが楽しかったようです。孫のを見ながらやりました。黄色一色にしました。
- 子どもと楽しく取り組めた。ゴムを割り箸にくる練習していた。意外と上手に出来てゴムの使い方の練習にもなっていました。
- ゴムを外すところが楽しかったです。
- ジャバラに折って割り箸ではさむ模様が面白かったです。
- ネコの肉球が面白かったです。
- 折っている時はどんな模様ができるか想像できなかったけれど、広げると白いところがあってびっくりした。もっと違う柄もやってみたくまりました。
- 草木染め初めてでどんなかわからなかったが、やり方順序どおりやって模様を想像してやりました。いい経験になりました。

(写真：イッシー、文責：もぐりん)